



▲伝統の階子乗りの披露。技が決まると、会場から大きな拍手が湧きました

市では、今まで培ったさまざまなノウハウを生かして、海外へ技術協力・支援活動を行っています。トルコ共和国・イズミルに対しては、下水道管の更新計画を策定する技術支援を平成28年3月から実施。両市の職員がお互いの市を訪問し、ワークショップや勉強会などを行っています。昨年11月25日から12月2日にかけては、建設局の技術職員が現地指導のためイズミルを訪問。古くなった下水道管の調査方法や、調査結果に基づきリスクの大きさを判定する方法などの技術を伝えました。

また、インドネシア共和国・ジャカルタでは、国内初の地下鉄開業を目指しています。このため、12月3日から14日にかけてジャカルタの職員3名が、交通局で地下鉄の信号や通信機器等に関する研修を受講。東西線の車両検修設備や点検作業を見学し、メンテナン

ス等のノウハウを学びました。

市は、交流人口の拡大に向け、来訪者の移動手段の充実や利便性の向上を図るため、12月27日に宮城県タクシー協会仙台地区総支部および仙台観光国際協会と連携協定を締結しました。

宮城県タクシー協会では、2月1日から仙台空港と市中心部を結ぶタクシーの定額運行サービスを開始しました。利用には対象となるタクシー会社への予約が必要で、料金は4人乗りの一般道利用が5千円、高速道路利用が7千円(高速料金は別途負担)です。

今後は中心部以外の市内全域にも利用範囲を拡大するなど、本市

防火・防災への決意を新たにしたい一日となりました。

◎平成30年は、火災件数は減少、救急車出場件数は増加

消防局がまとめた平成30年火災・救急概況(速報値)によると、火災件数は前年より26件減の254件で、平成以降では2番目に少ない件数でした。火災による死者は前年より1人増の11人で、出火原因は放火(疑いを含む)と電灯・電話等の配線の原因とする出火が最多でした。冬季は特に乾燥しやすいため、火の取り扱いには十分気を付けてください。

一方、救急出場件数は2722件増の5万2538件で初めて5万件を超え、搬送人員は2478人増の4万6601人でした。

長年にわたり地域の防災・減災に尽力された団体等を表彰する防災ボランティア表彰式を、1月16日に行いました。受賞した4団体は次のとおりです(順不同)。

「荒巻西地区防火協会連合会」「折立地区防災対策連絡会」「株式会社仙台シテイエフエム」「仙台市泉地区婦人防火クラブ連絡協議会」

地域の防災に貢献した防災ボランティア表彰式を実施しました

市では、交流人口の拡大に向け、来訪者の移動手段の充実や利便性の向上を図るため、12月27日に宮城県タクシー協会仙台地区総支部および仙台観光国際協会と連携協定を締結しました。

宮城県タクシー協会では、2月1日から仙台空港と市中心部を結ぶタクシーの定額運行サービスを開始しました。利用には対象となるタクシー会社への予約が必要で、料金は4人乗りの一般道利用が5千円、高速道路利用が7千円(高速料金は別途負担)です。

今後は中心部以外の市内全域にも利用範囲を拡大するなど、本市

防火・防災への決意を新たにしたい一日となりました。

◎平成30年は、火災件数は減少、救急車出場件数は増加

消防局がまとめた平成30年火災・救急概況(速報値)によると、火災件数は前年より26件減の254件で、平成以降では2番目に少ない件数でした。火災による死者は前年より1人増の11人で、出火原因は放火(疑いを含む)と電灯・電話等の配線の原因とする出火が最多でした。冬季は特に乾燥しやすいため、火の取り扱いには十分気を付けてください。

一方、救急出場件数は2722件増の5万2538件で初めて5万件を超え、搬送人員は2478人増の4万6601人でした。

長年にわたり地域の防災・減災に尽力された団体等を表彰する防災ボランティア表彰式を、1月16日に行いました。受賞した4団体は次のとおりです(順不同)。

「荒巻西地区防火協会連合会」「折立地区防災対策連絡会」「株式会社仙台シテイエフエム」「仙台市泉地区婦人防火クラブ連絡協議会」

地域の防災に貢献した防災ボランティア表彰式を実施しました

市では、交流人口の拡大に向け、来訪者の移動手段の充実や利便性の向上を図るため、12月27日に宮城県タクシー協会仙台地区総支部および仙台観光国際協会と連携協定を締結しました。

宮城県タクシー協会では、2月1日から仙台空港と市中心部を結ぶタクシーの定額運行サービスを開始しました。利用には対象となるタクシー会社への予約が必要で、料金は4人乗りの一般道利用が5千円、高速道路利用が7千円(高速料金は別途負担)です。

今後は中心部以外の市内全域にも利用範囲を拡大するなど、本市

防火・防災への決意を新たにしたい一日となりました。

◎平成30年は、火災件数は減少、救急車出場件数は増加

消防局がまとめた平成30年火災・救急概況(速報値)によると、火災件数は前年より26件減の254件で、平成以降では2番目に少ない件数でした。火災による死者は前年より1人増の11人で、出火原因は放火(疑いを含む)と電灯・電話等の配線の原因とする出火が最多でした。冬季は特に乾燥しやすいため、火の取り扱いには十分気を付けてください。

一方、救急出場件数は2722件増の5万2538件で初めて5万件を超え、搬送人員は2478人増の4万6601人でした。

市政トピックス

世界へ広がる仙台の技術
—海外へ協力活動実施

◀イズミルの職員と計画の策定に向けたワークショップを行いました



▶路線を変える装置(転てつ機)の点検作業に立ち会うジャカルタの職員



市では、今まで培ったさまざまなノウハウを生かして、海外へ技術協力・支援活動を行っています。トルコ共和国・イズミルに対しては、下水道管の更新計画を策定する技術支援を平成28年3月から実施。両市の職員がお互いの市を訪問し、ワークショップや勉強会などを行っています。昨年11月25日から12月2日にかけては、建設局の技術職員が現地指導のためイズミルを訪問。古くなった下水道管の調査方法や、調査結果に基づきリスクの大きさを判定する方法などの技術を伝えました。

また、インドネシア共和国・ジャカルタでは、国内初の地下鉄開業を目指しています。このため、12月3日から14日にかけてジャカルタの職員3名が、交通局で地下鉄の信号や通信機器等に関する研修を受講。東西線の車両検修設備や点検作業を見学し、メンテナン

ス等のノウハウを学びました。

市は、交流人口の拡大に向け、来訪者の移動手段の充実や利便性の向上を図るため、12月27日に宮城県タクシー協会仙台地区総支部および仙台観光国際協会と連携協定を締結しました。

宮城県タクシー協会では、2月1日から仙台空港と市中心部を結ぶタクシーの定額運行サービスを開始しました。利用には対象となるタクシー会社への予約が必要で、料金は4人乗りの一般道利用が5千円、高速道路利用が7千円(高速料金は別途負担)です。

今後は中心部以外の市内全域にも利用範囲を拡大するなど、本市

防火・防災への決意を新たにしたい一日となりました。

◎平成30年は、火災件数は減少、救急車出場件数は増加

消防局がまとめた平成30年火災・救急概況(速報値)によると、火災件数は前年より26件減の254件で、平成以降では2番目に少ない件数でした。火災による死者は前年より1人増の11人で、出火原因は放火(疑いを含む)と電灯・電話等の配線の原因とする出火が最多でした。冬季は特に乾燥しやすいため、火の取り扱いには十分気を付けてください。

一方、救急出場件数は2722件増の5万2538件で初めて5万件を超え、搬送人員は2478人増の4万6601人でした。

長年にわたり地域の防災・減災に尽力された団体等を表彰する防災ボランティア表彰式を、1月16日に行いました。受賞した4団体は次のとおりです(順不同)。

「荒巻西地区防火協会連合会」「折立地区防災対策連絡会」「株式会社仙台シテイエフエム」「仙台市泉地区婦人防火クラブ連絡協議会」

地域の防災に貢献した防災ボランティア表彰式を実施しました

市では、交流人口の拡大に向け、来訪者の移動手段の充実や利便性の向上を図るため、12月27日に宮城県タクシー協会仙台地区総支部および仙台観光国際協会と連携協定を締結しました。

宮城県タクシー協会では、2月1日から仙台空港と市中心部を結ぶタクシーの定額運行サービスを開始しました。利用には対象となるタクシー会社への予約が必要で、料金は4人乗りの一般道利用が5千円、高速道路利用が7千円(高速料金は別途負担)です。

今後は中心部以外の市内全域にも利用範囲を拡大するなど、本市

防火・防災への決意を新たにしたい一日となりました。

◎平成30年は、火災件数は減少、救急車出場件数は増加

消防局がまとめた平成30年火災・救急概況(速報値)によると、火災件数は前年より26件減の254件で、平成以降では2番目に少ない件数でした。火災による死者は前年より1人増の11人で、出火原因は放火(疑いを含む)と電灯・電話等の配線の原因とする出火が最多でした。冬季は特に乾燥しやすいため、火の取り扱いには十分気を付けてください。

一方、救急出場件数は2722件増の5万2538件で初めて5万件を超え、搬送人員は2478人増の4万6601人でした。

長年にわたり地域の防災・減災に尽力された団体等を表彰する防災ボランティア表彰式を、1月16日に行いました。受賞した4団体は次のとおりです(順不同)。

「荒巻西地区防火協会連合会」「折立地区防災対策連絡会」「株式会社仙台シテイエフエム」「仙台市泉地区婦人防火クラブ連絡協議会」

地域の防災に貢献した防災ボランティア表彰式を実施しました

市では、交流人口の拡大に向け、来訪者の移動手段の充実や利便性の向上を図るため、12月27日に宮城県タクシー協会仙台地区総支部および仙台観光国際協会と連携協定を締結しました。

宮城県タクシー協会では、2月1日から仙台空港と市中心部を結ぶタクシーの定額運行サービスを開始しました。利用には対象となるタクシー会社への予約が必要で、料金は4人乗りの一般道利用が5千円、高速道路利用が7千円(高速料金は別途負担)です。

今後は中心部以外の市内全域にも利用範囲を拡大するなど、本市

防火・防災への決意を新たにしたい一日となりました。

◎平成30年は、火災件数は減少、救急車出場件数は増加

消防局がまとめた平成30年火災・救急概況(速報値)によると、火災件数は前年より26件減の254件で、平成以降では2番目に少ない件数でした。火災による死者は前年より1人増の11人で、出火原因は放火(疑いを含む)と電灯・電話等の配線の原因とする出火が最多でした。冬季は特に乾燥しやすいため、火の取り扱いには十分気を付けてください。

一方、救急出場件数は2722件増の5万2538件で初めて5万件を超え、搬送人員は2478人増の4万6601人でした。

市政トピックス

市政トピックス

二十歳の門出を祝福
—成人式開催



▲誓いの言葉を述べる新成人代表

を訪れる旅行者が安心してスムーズに移動できる環境を整えていきます。

1月13日、カメイアリーナ仙台で成人式が行われ、新成人たちが新たな門出を迎えました。今年二十歳を迎えた新成人は平成10年4月2日から平成11年4月1日に生まれた1万1246人です。

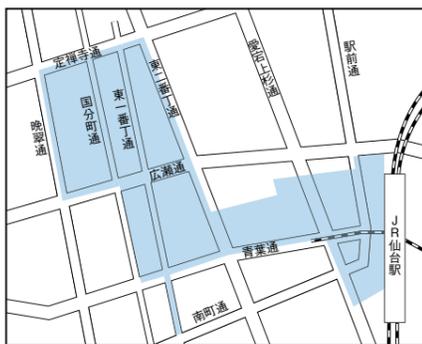
第1部の式典で郡市長は「出会いを大切に、未来を築いていく中で、存分に力を発揮してください」とメッセージを贈りました。

また、新成人を代表して、天野佑史さんと板垣明莉さんが「平成最後の成人式となる今日、新しい時代に勇気を持って飛び立てるように、力強く生きていきます」と誓

いの言葉を述べる新成人代表

市内中心部での居酒屋等の客引き行為等により、通行の妨げや不快な声掛けなどの問題が生じていることから、12月21日に「仙台市客引き行為等の禁止に関する条例」を制定しました。

4月からは、禁止区域における客引き行為等の禁止および違反行為に対する警告や命令、罰則等を適用するなど、より安全で快適に通行できるように取り組んでいます。



▲客引き行為等の禁止区域

市政トピックス

安全と奮起誓う—消防出初式を開催

新春恒例の消防出初式を1月6日、勾当台公園市民広場と市役所本庁舎前で開催し、消防職員や消防団員、婦人防火クラブ員など1200人が参加しました。

消防車両19台が整列する観閲行進に続き、式典を実施。その後、消防音楽隊の演奏に合わせてカラーガード隊が華麗にドリル演技を披露しました。また、市内七つの消防団により、市の無形民俗文化財でもある「仙台消防階子乗り」の演技が行われ、高さ7・2メートルのはしごの上で消防の心意気を伝える勇壮な技が次々に披露されると、多くの観客から大きな歓声が上がりました。

そのほか、救助訓練や一斉放水を実施。参加者が気持ちを一つに

長年にわたり地域の防災・減災に尽力された団体等を表彰する防災ボランティア表彰式を、1月16日に行いました。受賞した4団体は次のとおりです(順不同)。

「荒巻西地区防火協会連合会」「折立地区防災対策連絡会」「株式会社仙台シテイエフエム」「仙台市泉地区婦人防火クラブ連絡協議会」

地域の防災に貢献した防災ボランティア表彰式を実施しました

市では、交流人口の拡大に向け、来訪者の移動手段の充実や利便性の向上を図るため、12月27日に宮城県タクシー協会仙台地区総支部および仙台観光国際協会と連携協定を締結しました。

宮城県タクシー協会では、2月1日から仙台空港と市中心部を結ぶタクシーの定額運行サービスを開始しました。利用には対象となるタクシー会社への予約が必要で、料金は4人乗りの一般道利用が5千円、高速道路利用が7千円(高速料金は別途負担)です。

今後は中心部以外の市内全域にも利用範囲を拡大するなど、本市

防火・防災への決意を新たにしたい一日となりました。

◎平成30年は、火災件数は減少、救急車出場件数は増加

消防局がまとめた平成30年火災・救急概況(速報値)によると、火災件数は前年より26件減の254件で、平成以降では2番目に少ない件数でした。火災による死者は前年より1人増の11人で、出火原因は放火(疑いを含む)と電灯・電話等の配線の原因とする出火が最多でした。冬季は特に乾燥しやすいため、火の取り扱いには十分気を付けてください。

一方、救急出場件数は2722件増の5万2538件で初めて5万件を超え、搬送人員は2478人増の4万6601人でした。

長年にわたり地域の防災・減災に尽力された団体等を表彰する防災ボランティア表彰式を、1月16日に行いました。受賞した4団体は次のとおりです(順不同)。

「荒巻西地区防火協会連合会」「折立地区防災対策連絡会」「株式会社仙台シテイエフエム」「仙台市泉地区婦人防火クラブ連絡協議会」

地域の防災に貢献した防災ボランティア表彰式を実施しました

市では、交流人口の拡大に向け、来訪者の移動手段の充実や利便性の向上を図るため、12月27日に宮城県タクシー協会仙台地区総支部および仙台観光国際協会と連携協定を締結しました。

宮城県タクシー協会では、2月1日から仙台空港と市中心部を結ぶタクシーの定額運行サービスを開始しました。利用には対象となるタクシー会社への予約が必要で、料金は4人乗りの一般道利用が5千円、高速道路利用が7千円(高速料金は別途負担)です。

今後は中心部以外の市内全域にも利用範囲を拡大するなど、本市

防火・防災への決意を新たにしたい一日となりました。

◎平成30年は、火災件数は減少、救急車出場件数は増加

消防局がまとめた平成30年火災・救急概況(速報値)によると、火災件数は前年より26件減の254件で、平成以降では2番目に少ない件数でした。火災による死者は前年より1人増の11人で、出火原因は放火(疑いを含む)と電灯・電話等の配線の原因とする出火が最多でした。冬季は特に乾燥しやすいため、火の取り扱いには十分気を付けてください。

一方、救急出場件数は2722件増の5万2538件で初めて5万件を超え、搬送人員は2478人増の4万6601人でした。

長年にわたり地域の防災・減災に尽力された団体等を表彰する防災ボランティア表彰式を、1月16日に行いました。受賞した4団体は次のとおりです(順不同)。

「荒巻西地区防火協会連合会」「折立地区防災対策連絡会」「株式会社仙台シテイエフエム」「仙台市泉地区婦人防火クラブ連絡協議会」

地域の防災に貢献した防災ボランティア表彰式を実施しました

市では、交流人口の拡大に向け、来訪者の移動手段の充実や利便性の向上を図るため、12月27日に宮城県タクシー協会仙台地区総支部および仙台観光国際協会と連携協定を締結しました。

宮城県タクシー協会では、2月1日から仙台空港と市中心部を結ぶタクシーの定額運行サービスを開始しました。利用には対象となるタクシー会社への予約が必要で、料金は4人乗りの一般道利用が5千円、高速道路利用が7千円(高速料金は別途負担)です。

今後は中心部以外の市内全域にも利用範囲を拡大するなど、本市

防火・防災への決意を新たにしたい一日となりました。

紹介した本は、市民図書館でご覧いただけます 問市民図書館 ☎261・1585